

図書館だより

平成30年12月



11月貸出総数 120冊

外国の本をみてみませんか？

2025年 大阪万博決定

2025年大阪で万国博覧会が開催されることになりました。世界中から多くのお客様が大阪に来られます。本校にもいろいろな国にルーツをもつ仲間がたくさんいるので、今年も中央図書館から30冊のいろいろな国の本をお借りし、展示しています。ことばや文字を知ることが、相手の国を知るきっかけになればと思っています。図書館には同じ本の日本語版もあり、その違いを見るのも面白いですよ。貸し出しもできますのでぜひ、図書館に来てみてください。

外国語資料（一部）

英語

「マップス」
「いいこだ、ファーガス！」
「ふたりはともどち」
「ぜったいがっこういかないからね」
「ニューヨークのリサ」
「精霊の守り人」
「ワンダー」

中国語

「新幹線のたび」
「おまえうまそうだな」
「なつみはなんにでもなれる」
「二分間の冒険」

フランス語

「リサとガスパールのピクニック」
他2冊

ロシア語

「クラウディアのいのり」
他1冊

ヒンディー語

3冊

ネパール語

「雨」
「なかよしミリガ」

韓国語

「ふまんがあります」
「りゆうがあります」
「丘の家、夢の家族」



【図書支援員 森田さんおすすめの本】

「アンデルセン童話集」

懐かしい…と思われますか。みにくいアヒルの子、親指姫、人魚姫、マッチ売りの少女…たくさんの中の童話があります。愛と死、罪と罰をこんなに幻想的な童話にするなんて…と夢中になります。アンデルセンが才能に花を咲かせていたころ、出生地のドイツではクリスマスプレゼントにアンデルセンの童話を心待ちにする子どもがたくさんいたそうです。

